



イマジン  
ロータリー

国際ロータリー第2610地区  
南砺ロータリークラブ

# クラブ会報 **なんと**



NO. 2590

URL <http://www.nanto-rc.jp>

E-mail [office@nanto-rc.jp](mailto:office@nanto-rc.jp)

例会日/火曜日 12:30点鐘 例会場/福光会館2Fサークルルーム1 ◆事務局/富山県南砺市福光7336-4 ぶくみ光屋内 ☎ 0763-53-1333 FAX 53-1334

写真撮影  
写真同好会  
山田清志会員



「おはよう朝」

### ◆委員会報告

**R情報・雑誌委員会** 川合声一委員長  
「友」3月号より、4P ジェニファー・ジョーンズ会長メッセージ、11月に日本を訪れた際に、茶道の千玄室さんに教わったことを述べられています。  
7P 地域の森活用術!では、全国のロータリークラブで植林活動や整備に取り組んでいる様子が紹介されています。南砺市でも取り組んでいます。  
16P ローターアクトって何? Q&A  
18PRI会長エレクト、ゴードン・マッキンリーさんの紹介  
縦4P「震災から復興へ 発酵で町づくり」陸前高田市の酒屋さんの物語、テーマは「町づくり」です。  
縦9P「この人訪ねて～萩原勇作さん(千葉県佐倉中央C)」のお話です。ローマ教皇にランチを提供し、JALとANAを結ぶなど「何か面白いことをやりましょう」といつも考えている方のお話です。

### ♣ 3月の誕生日祝

紹介: 吉田親睦活動委員長  
5日石崎博之君 13日上坂英伸君  
16日吉田 実君 18日谷村賢治君  
24日牧 千収君 25日山田喜代美君  
♥ 3月の結婚記念日  
3日石崎和三君 4日高野 実君  
9日古軸裕一君 20日久患龍三君  
28日森 雄一君



### ◆次年度研修会の案内

木村伊徳次期会長より  
23-24年度地区研修協議会には、次期の役員、理事、各委員長、入会3年以下の方々は出席して頂きたいと思ひます。  
[4月23日(日) 白山市松任文化会館 〆切3月20日]  
出欠表を回しますので、よろしくお願ひします。

第2651例会 令和5年3月7日(火) 晴 15℃

- ◆点 鐘 12:30 古瀬喜八郎会長
- ◆司 会 谷村修基SAA
- ◆国歌「君が代」ソング「四つのテスト」
- ◆会長の時間 古瀬喜八郎会長



皆さんお疲れ様でございます。3月4日に高岡商工会館で第4グループのIMがありました。岡部さんはじめ出席された皆さんありがとうございます。久しぶりに第4グループの皆さんにお会いできて、楽しい会合で良かったなと思っております。

3月は「水と衛生」月間です。日本では飲める水で風呂に入ったり、洗車したり、諸外国では考えられない水に恵まれた国だと思ひます。本当にありがたいなと思ひます。

次回の3月14日の例会は夜間例会でみや川さんで行います。18時30分開会、点鐘です。友好交流片山浩一委員長の卓話の後、食事の予定です。

### 一限りある命一

3月3日は桃の節句です。季節の変わり目の体調を崩しやすい時期に邪気を払う妙薬として。中国では「桃」が珍重されています。

桃は身を食べれば不老不死になるとされ、その起源は伝説の仙女「西王母」が崑崙山(こんろんさん)にあるばん桃園で育てた仙桃だともいわれています。古くから桃の花は邪気を払うとされ、葉は漢方薬として利用されてきました。

不老不死と聞くと素晴らしいことと思われがちですが、物語では否定的に描かれることも多いようです。

漫画家の高橋留美子氏は「人魚の森」という作品で不老不死について描いています。不老不死になった主人公が、永遠に生き続けなければならない苦悩を語り、元の体に戻るための旅を通して、生と死について考える話です。

限りある命だからこそ人は努力するのでしょうか。永遠の時間を生きるのなら、必要にせまられず、物事の多くは完結しないかもしれません。

「今」を懸命に生きることの大切さを意識したいものです。

### 今日の心がけ◆今を大切に生きましよう

### ◆理事会報告

- 石崎和三幹事
- ①3月4日のIMはメーキャップ扱いになるかどうか。
  - ②IA生徒豪州に2人派遣。(原田、向井さん) ¥215,160クラブ助成
  - ③トルコ・シリア大地震義援金、一人¥2,000口座引落し
  - ④G事務所より、水の月間のお話

### ◆幹事報告

石崎和三幹事  
①高岡北Cより例会変更の案内

### ◆出席報告

松本敏博委員長

会員数	3月7日出席率	2月20日(修正)
44 (免除2)	65.12% (出28)	73.81% (出31 内メーク6)

メーキャップ: 岡部君、川合君、中田君、松村君、水口君、森悦夫君

**本日のプログラム** 3月14日(火) 第2652回例会  
【夜間例会】《友好交流セミナー》 於:みや川  
18:30 例会 担当片山浩一委員長 (酒類は自腹で!)

**次回の予定** 3月28日(火) 第2653回例会  
卓 話  
担当 木勢博文会員



金沢、五箇山、白川郷、高山の地域は、藩政時代に加賀前田藩を通じたつながりがあり、高山と松本は明治時代のはじめ廃藩置県後の約5年間、同一県になっていたことなど、歴史上のつながりが深い地域と言えます。この金沢・五箇山・白川郷・高山・松本には「兼六園」、「合掌造り集落」、「古い町並」、「松本城」等の世界遺産や国宝、ミシュラン・グリーンガイド・ジャポンに3つ星で紹介されている我が国屈指の観光資源を有しています。

「北陸・飛騨・信州3つ星街道観光協議会」として、連携して様々な事業展開を行っておりますが、2014年からは、毎年「北陸・飛騨・信州3つ星街道観光協議会」としてツーリズムEXPOジャパンに出展。会場では各市の地酒を持ち寄って試飲会を行ったり、各市の伝統民謡の披露を行いました。その他、インバウンド誘致のためのメディア招請

も毎年行っています。

金沢から南砺への日帰り観光の定着を目指して「殿さま街道おちかづきプロモーション」と銘打って、2020年から毎年南砺の現地視察を実施しており、コンシェルジュの皆様にも南砺を身近に感じいただきはじめています。

今年度は、金沢ホテル懇話会に加盟するホテルの支配人やコンシェルジュ11名による現地視察会を8月27日に開催し、「世界遺産五箇山」と「演劇の聖地・利賀」を視察いただきました。

金沢八家では、石川県の食と文化を楽しめるイベント「金沢八家の『美食倶楽部』」を共同開催。県産食材を使った料理を、芸妓(げいこ)の舞を楽しみながら味わうことができる催しで、参加料金は1人1万5千～2万円。メニューや開催日時は各ホテルで異なる。この度、特別編として、南砺市でも3/13に開催します。五箇山合掌の里で報恩講料理をいただきます。

岐阜県高山市から南砺への観光流動の拡大に向け、高山の宿泊事業者、観光案内所スタッフら12名による現地視察会を1月23日に開催しました。

今回は「井波」「五箇山」を視察いただき、南砺の伝統工芸や文化といった奥深い魅力に見学や体験を通して触れていただきました。高山市からの視察は初めての試みで、これをきっかけに相互の交流を目指します。

コロナ禍で中止になっていた「川崎市立金程小学校での音楽の特別授業」r世界遺産五箇山がやってくる!(川崎市立日本民家園)を3年ぶりに実施。10/15(土)に開催した「世界遺産五箇山がやってくる!」は、川崎市立日本民家園のに移築された五箇山の合掌造り3棟を舞台に、五箇山民謡「こきりこ」の公演と田舎裏端での五箇山話に多くの方にご参加いただきました。コロナ禍で中止になっていた「神楽坂化け猫フェスタ」を3年ぶりに実施。

10/16(日)には東京・神楽坂で「神楽坂化け猫フェスティバル」に参加し、「こきりこ体験ワークショップ」「ギャルソンレース」「南砺物産展」「こきりこステージと輪踊り」を通して南砺の魅力をPRしました。

南砺市と東京・神楽坂との連携事業として、猫に仮装して市内のコースを自転車で走る「にゃんとコスプレサイクリング」を10/23(日)に開催しました。県内外の18名が耳を付けたり、顔にひげや模様を塗ったりした猫の姿でサイクリングを楽しみました。中には、メイクアップアーティストによる本格的メイクで、猫になりきってサイクリングを楽しまれた方もいらっしゃいました。

2019年から東京・神楽坂で独自に南砺市のPRを行ってきた「にゃんと市観光協会」。この活動が認められ、にゃんと市観光協会長に神楽坂でまちづくり活動に携わる地域文化プロモーターの日置圭子氏が任命され、マスコットキャラクターのにゃんと氏は「南砺市地域おこし協力猫」に任命されました。語呂合わせで「にゃんとの日」となる2月10日、市役所で田中幹夫市長が日置会長とにゃんと氏に任命書を手渡しました。にゃんと氏は「もっともっとPR活動をがんばる」とフリップを使って述べました。今後は、SNSをメインに情報発信を行い南砺と神楽坂の架け橋となっていただきます。



全国京都会議とは、全国に散在する小京都と呼ばれる26市町と京都が参加して「全国京都会議」が結成されました。京都とゆかりのまちが互いに手を携え、悠久の歴史と豊かな自然に培われた伝統や文化の魅力を広く全国に発信し、それぞれのまちのイメージアップと観光客誘致の相乗効果を図ることを目的としています。全国京都会議への加盟は、次のような条件の一つ以上あてはまることを基準にしています。

- ①京都に似た自然景観、町並み、たたずまいがある
- ②京都と歴史的なつながりがある
- ③伝統的な産業、芸能がある

令和4年9月現在、加盟は39市町となり、共同宣伝パンフレット・ポスターの作製・配布など、広域観光キャンペーンを展開するほか年1回の総会を加盟市町持ち回りで開催しています。

棟方志功サミットとは、棟方志功ゆかりの5都市である、青森県青森市(誕生の地)、東京都中野区(上京後に居を構え、板画家として飛躍を遂げた地)、富山県南砺市(疎開先であり成熟の地)、東京都杉並区(南砺から帰京後亡くなるまで居を構えた地)岡山県倉敷市(信頼を寄せる大原総一郎氏の暮らす地で、大原家の襖絵や倉敷国際ホテルの板壁画などを手掛けた)が、互いに情報を共有し密に連携することを目的に、一堂に会するイベントです。サミットは2016年の青森市を皮切りに各市区持ち回りで開催し、昨年で5回目を開催。

まるごと酒旅とは、「2泊3日、朝も昼も夜も酒に浸る」をテーマにした宿泊プランです。南砺には、日本酒の「三笑楽酒造」「若駒酒造場」「成政酒造」、クラフトビール「城端麦酒」、ワイナリー「ドメヌ・ポー」、ウイスキーボトラーズ「T&TTOYAMA」の6つの蔵があり、醸造酒から蒸留酒が揃うという、極めて珍しい地域。

(今回の会報担当・牧千収)

